

ピロコッカス・フリオーサス由来のネイティブヘキソキナーゼ（ADP依存性）

Cat. No. NATE-1135

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

酵素学において、ADP依存性ヘキソキナーゼ (EC 2.7.1.147) は、次の化学反応を触媒する酵素です： D-グルコース + ADP → D-グルコース-6-リン酸 + AMP。

用途

ADPの酵素的測定に役立ちます。

別名

ADP依存性グルコキナーゼ；ADP特異的グルコキナーゼ；ADP:D-グルコース 6-ホスホトランスフェラーゼ；EC 2.7.1.147

製品情報

由来

パイロコッカス・フリオーサス

外観

白色の非晶質粉末、凍結乾燥された

EC番号

EC 2.7.1.147

CAS登録番号

173585-07-4

分子量

100 kDa (gel filtration) 51 kDa (SDS-PAGE)

活性

30 U/mg 以上の固体

混入物

NADPHオキシダーゼ < 0.01%；ATPアーゼ < 0.01%

等電点

5.1

pH安定性

5.0–10.0

最適pH

7.5

熱安定性

95°C以下で安定

最適温度

100°C

ミカエリス定数

グルコース 0.64 mM (37°Cで) ADP 0.07 mM (37°Cで)

活性化因子

Mg²⁺, Co²⁺, Mn²⁺

単位定義

1単位は、アッセイ手順で指定された条件下で、37°Cで1μモルのグルコースをD-グルコース-6-リン酸に置換する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法

乾燥剤の存在下で–20°Cでの保管が推奨されます。